

# ゴウツのエキマエ

2013秋冬号  
江津駅前地区  
活性化推進協議会



## ゴウツのエキマエを考える その二

### 駅前の、これまでとこれから

#### 江津万葉の里商店会 吉岡会長

「インタビューアー NPO法人てこねっと石見(三浦大紀)」

「あの頃はよかった。」  
こんな言葉をよく耳にする。江津の駅前も同様、八百屋、魚屋、駄菓子屋、靴屋：人が多く暮らしていた時代にはサービスも

多種多様で、さぞかし賑やかだったに違いない。さて、今はどうだろう。30年前と比較してみよう。パブルへ向かう中で、皆、外へ外へと意識が向

かった時代。購買意欲も高く、飲食業から物販まで、ありとあらゆる業種が元氣だった。しかし、景気低迷や生活様式の変化に伴い、様子が変わってきた。移動は車が当たり前。週末は家族で郊外のショッピングモールへ行つてまとめ買い。町の商店会にダメー

ジがないわけがない。そんな賑わいがなくなつて疲弊した江津の駅前に、朗報が飛び込んだ。今の駅前開発である。市民が期待するのは「賑わい」ただ一点。しかし、テーマパークを造るわけではない。どうしたら賑わいを取り戻せるのか。駅前で、30年書店店主を務める吉岡さん(江津万葉の里商店会会長)に話を聞いた。



インタビューを受ける吉岡会長(江津万葉の里商店会)

「駅前ってどんな場所なんでしょう？」  
自分が他所の町を訪ねるとき、まず駅を目指すんだよね。それが、その町のランドマークだから。情報が集まる場所でしょう。それは江津も一緒。町の玄関なんだよ。玄関はいつもきれいに掃除しておかなくちゃ。みんなが使う場所だからね。

「そこに商店会があるわけですが、理想の商店街ってどんなイメージですか？」  
商店街というのは個人的な人たち(店)の集まりだからね。そういう個店が軒を連ねている姿が理想かな。昔はね、あちこちから人の声が聞こえる町だったんだよ。暖かさのある町というかな。あ、昔の話じゃないね、今日はこれからの話をするんだ(笑)。

「駅前開発がいよいよ始まりますね。期待していることは何ですか？」  
建設予定の施設は、市民の皆様が利用する場所

であつて、観光施設じゃない。だから、これから生まれる賑わいもフロー(流れて行く人達)じゃなく、ストック(そこに居る人達)からつくられるもの。市民の方々に足を運んでもらうって、リピートしてもらう店づくりをしていく必要がある。分かつてはいるんだけど、今の地域状況ではチャレンジするのも正直苦しい部分がある。ただ、この駅前には非常に住みやすい土地。交通の利便性はもちろん、医療、行政サービスが集中して、これがこの地域の最大の強みでしょ。住環境の整備は早急に期待したいところだね。商店街の必要性も高まるだろうから。

「吉岡さんにとって町づくりって何ですか？」  
意識したことはないけれど、市民として、この町を誇れるようになりたい。それはいつも思っている。駅前も同様、誇れる駅前にしたい。そういうのって仲間と楽しく協力しあつてやつていくことにつぎると思うんだよね。お互いに深く関わつていたら困つた時には助け合つてね。商売敵(同業種)だっていいんだ。切磋琢磨がないと町は元氣にならない。今、徐々に店ができていく。徐々に街が盛り上がる。僕たちは、いつでも仲間を募集しているから。一緒に駅前を、町を盛り上げていきたいね。

11月7日(木) 実施

子どもたちが描く、未来の駅前  
21名が参加

駅前見学後、理想の商店街を発表



黒板にグループごとに考えた理想の店舗イメージを描く児童

十一月七日の朝、冬の訪れをにわかに感じる江津駅前、大勢の子ども達の元気な声が響きわたつた。社会科学習で江津万葉の里商店会にやつてきた渡津小学校の3年生児童21名である。

子ども達は、「人びとのくらしと私たちのくらし」をテーマに、スーパーや商店街で働く人たちに店の特色、思いなどを聞き、自分たちの生活が多くの人に支えられていることを学ぶためにやつて来た。万葉の里商店会の吉岡会長から商店街の説明を受けた後、商店にて百円で買い物体験をしたり、子ども達の視点で通りの気になる景色、面白い看板などを自由に写真撮影をしながら各店を巡つた。

子ども達の豊かな発想で描き出された夢の店々の一部を紹介すると、子どもから高齢者まで多様な世代が利用でき、みんなが笑顔になれる「えがおカフェ」や、「長生きスポートセンター」、高齢者と子ども達が、独楽やメロン、お手玉など、昔の遊び道具と一緒に作つて遊び方を教えてもらつたり、島根のことを知ることが出来る「コミュニケーションスペース「昭和広場」など、どれも魅力的なものばかり。彼らに、各々の夢の実現のために、今日から出来ること、友達と一緒に出来ること等を考え、実行してもらうことを約束し、社会科学習は終了した。



商店街を見学する渡津小学生(児童撮影)



平成25年度過疎地域自立活性化優良事例表彰  
江津市が総務大臣賞受賞

「創業者を応援」『企業』誘致から  
『起業』誘致へ

定住対策と産業振興は、人口が伸び悩む地方において非常に重要なテーマ。その中で江津市は、「企業」誘致ではなく、「起業」を志す若者を呼び込もうと、民間4機関（現在は5機関）と共に、2010年から江津市ビジネスプランコンテスト（通称Go-con）を開催してきた。対象は「江津を抱える課題解決を目的としたビジネス」であること。コンテストを機に起業した若者はそれぞれに創意工夫を凝らし、地域の活性化に取り組みが評価される。この取り組みが評価され、「過疎地域自立活性化優良事例表彰」の総務大臣賞を受賞。その創業者たちの活躍が、さらに外から新たな人材を呼び込むという好循環が生まれている。



表彰式にて（長崎県佐世保市）

12/15 (日)

江津市ビジネスプランコンテスト  
GO-con2013  
最終審査会 公開プレゼンテーション

最終審査会 公開プレゼンテーション

12月15日(日)  
13:00~17:00  
江津商工会議所 大会議室

最終審査会は、一次審査を通過した6名による公開プレゼンテーション。さらに、過去のGo-con大賞受賞者らによるトークイベントも開催。過疎化、少子高齢化、地場産業の衰退、公共事業の減少…。一見すると圧倒的条件不利地であるこのまちで、起業を志し、熱意あふれる若者がいます。ぜひ、彼らの熱い想いを聞いてみてください。

【場所】江津商工会議所 大会議室  
【日時】十一月十五日 午後1時~5時  
【参加費】無料（予約不要）どなたでも入場いただけます。

【問い合わせ先】事務局：NPO法人てごねっと石見 (52) 7130 担当：益子原

■定員15名・事前申込制  
ごうつのお昼時間

7月に江津駅前オープンしたコミュニティパー＆民泊「Yurusato (ゆるさと)」で、高齢者を中心とした多世代交流ができるイベント「ごうつのお昼時間」が、毎月第一木曜に開催されている。



カラダに優しいヘルシーな長寿ランチをいただきながら、地域の若者とのんびり昔話をしたり、ツボ押しマッサージのサービスを受けたり。なんでも、このイベントに参加すると10歳若返るとか！  
ぜひ、お友達を誘ってお気軽にご参加ください。

**Yurusato**  
江津市江津町893-2  
TEL: (52) 7222  
毎月第1木曜  
12:00~14:00  
【参加費】1,500円  
(弁当&マッサージ付)

駅前朝市

江津万葉の里商店会のアンテナショップ「万葉亭」にて、毎月一回朝市を開催中です。朝市限定のパンやお寿司などもございます。

【場所】万葉亭（江津町152074）  
【日時】十一月十四日 午前9時~11時  
【問い合わせ先】万葉亭（52）2727

■定員30名・事前申込制  
江津で映画を観る会  
『宇宙ショーへようこそ』

8月24日の水害で被害にあわれた皆様にはお見舞い申し上げます。水害のため延期となっておりました、アニメ『宇宙ショーへようこそ』を改めて上映いたします。

【場所】市川ビル2階  
江津町151727  
【日時】十一月十四日  
午後1~3時  
【料金】大人1200円  
子供800円  
【申込み】てごねっと石見  
(52) 7130



ご協力のお願い

“今、ごうつ駅前が変わろうとしています”  
江津駅前ホテル建設にご協力ください!

株式会社江津未来開発では、中心市街地活性化の主要な民間事業として、平成27年度オープンを目指す江津駅前ホテル建設事業に取り組んでいます。このホテル建設事業は単なる営利目的の事業でなく、市民や企業のニーズも高く、また外貨収入が見込まれることや観光、飲食等の関連産業への波及効果も大きいことから、中心市街地活性化を図って行く上で民間事業の大きな一翼として位置付けています。

現在、江津未来開発では建設に向けた第1次の資本増資（12月）を行っており、引き続き市民・企業等を対象にした事業説明会、第2次募集（1~3月）を行うとしています。

ホテル建設事業には多額な資金が必要となりますので、多くの市民の皆様、企業の皆様のご理解とご協力をお願いします。

（株）江津未来開発株式募集  
募集株1株5万円



<江津市中心市街地活性化ビジョン>  
江津駅前再生整備イメージパース

江津商工会議所 江津駅前地区活性化推進協議会事務局  
Tel. (0855) 52-2268

コラム

●●が見た、江津②

『わたしが“エキマエ”を好きな理由』 江津中学校3年生 女子学生

江津駅前、江津万葉の里商店会、江津本町と、どこも賑わいがなくて寂しい。でも、イベントやお祭りがあれば、そこにたくさんの方が集まる。私は人が多いところが好きじゃないけれど、“エキマエ”に人が集まるのは好き。

普段は人通りが多いとは言えない“エキマエ”だけど、すれちがう方は、みんな挨拶をしてくれる。笑顔で挨拶をしてくださるから、少しこころがあたたかくなる。そんな方々がいるから、“エキマエ”を歩くのが、私は楽しい。



編集後記

本格的に冬支度が必要な季節になりましたね。みなさま如何お過ごしでしょうか？

さて、第二回は、てごねっと石見にインタビューや職場体験にきてくれた学生に、紙面作りの一部を手伝ってもらいました。学生が駅前について思っていることを少しでも感じていただければ幸いです。また、本紙についての感想やご意見等ございましたら、ぜひ事務局までお寄せください。（岸本）



Illustration by D52

ゴウツエキマエ  
ショップ

お問い合わせ先：NPO法人てごねっと石見  
〒695-0011 江津市江津町1517-2  
TEL. 0855-52-7130 FAX. 0855-52-7135

本紙は、江津駅前地区活性化推進協議会からの委託事業でNPO法人てごねっと石見が発行しています。